

2010年度改訂第4版

監修の序

本書は、研修医を含む若手の先生方が、日常診療において診断から治療へと迅速に進められるように、最低限身につけるべき知識と薬品を系統的に整理し、かついつでも持ち歩いて利用していただけるようにポケット判とした一書です。医薬品をすべて収録した「治療薬の辞典」ではなく、日常診療で「普段使われる薬」「知っておくべき薬」をピックアップして掲載することで、現場で使いやすい書籍を目指しました。

本書を刊行して、4年目を迎えました。初版を送り出します時に、より利用しやすく、そして一層信頼していただける内容を目指し、毎年改訂していくことを掲げさせていただきました。前回の第3版では、研修医の先生方のご意見を取り入れ、新たな試みや工夫を行いましたところ、とても好評でした。

2010年度改訂第4版は、これまでの改訂の流れを汲み、皆様からのご意見・ご希望に一層お応えできますように努めました。今回の主な改良点は3点ございます。第1点として、薬の使い分けや注意点について端的でわかりやすい解説を加えました。第2点として、同種薬/類似薬を多く追加しました。第3点は、禁忌・警告・重大な副作用などの重要情報を網羅した点です。この他にも使いやすさを求めて、付録に薬価が高い薬や長期処方できない薬なども収録させていただきました。

ご多忙な日々の診療の中で、先生方に本書を利用していただきますれば幸甚に存じます。

2010年1月

梶井英治